

いい加減と創造力の あいだには・・・

研究報告会2011

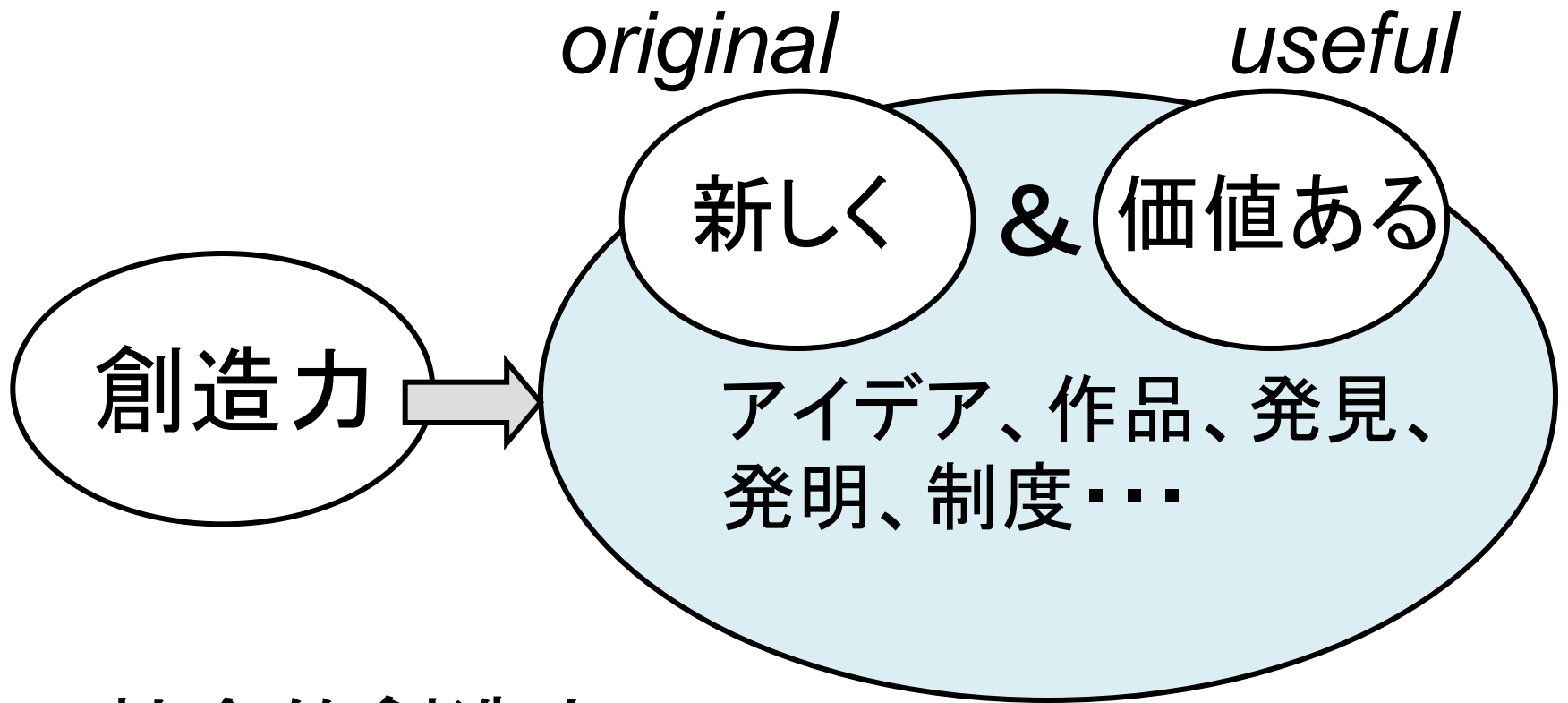
伊 藤 進
(教養教育科)

理論心理学 数理心理学 計量心理学 感覺心理
学 知覚心理学 認知心理学 思考心理学 言語心
理学 学習心理学 生理心理学 神經心理学 感情
心理学 動物心理学 比較心理学 教育心理学 学
校心理学 発達心理学 幼児心理学 児童心理学
青年心理学 老年心理学 家族心理学 社会心理
学 対人心理学 集団心理学 組織心理学 産業心
理学 文化心理学 政治心理学 經濟心理学 經營
心理学 コミュニティ心理学 臨床心理学 相談心
理学 犯罪心理学 矯正心理学 自我心理学 性格
心理学 異常心理学 健康心理学 障害児心理学
応用心理学 交通心理学 広告心理学 環境心理
学 芸術心理学 福祉心理学 宗教心理学 軍事心
理学 スポーツ心理学 コミュニケーション心理学

人間は工夫する生物

つまり、「創造的生物」

工夫→面白さ、よろこび:生きがい



社会的創造力

日常的創造力

鍵は「アモーレ情熱」

アモーレ情熱



飽くことを知らない自己投入



リソースの強力な動員・適切な組織化

今、マニュアル化社会

マニュアルの負の面も押さえておくべきだ

マニュアル依存の落とし穴

- ①自分の頭で考えない
- ②自分の目で見ない
- ③「ひとつの正解幻想」におちいる
- ④生きたコミュニケーションをとらなくなる
- ⑤挑戦心がなくなる
- ⑥「いい・カゲン」がだめになる

マニュアルは“アンチ工夫”

マニュアル

(こんなときには) → (こうしたらよい)

問題 → 解決法

工夫の必要がない

工夫の機会が与えられない

→ 真の面白さ・よろこび得られない

創造力衰える

マニュアルの本質的問題点

- ①「想定外」には無力
- ②多様な変化に迅速で臨機応変な対応ができない

刻々と多様に変化する状況→「即興」が必要

行動のいい加減

「いい・カゲン」: 状況にも自分にも合っている

「イーカゲン」: 手抜きをしている

「トコトン」: 可能な限りを尽くす

「メタ(いい・カゲン)」: どんなときに上記3つの
どれにするかを判断・調整する高次のいい・
カゲン

問題対処行動の3タイプ

①マニュアル行動

→いい・カゲンは無理

②基本抜き自分流

→いい・カゲンは偶発的に

③基本に立った自分流

→いい・カゲンへの王道

基本 = (基本的知識) × (基本的スキル)

創造的即興

「基本に立った自分流」による即興

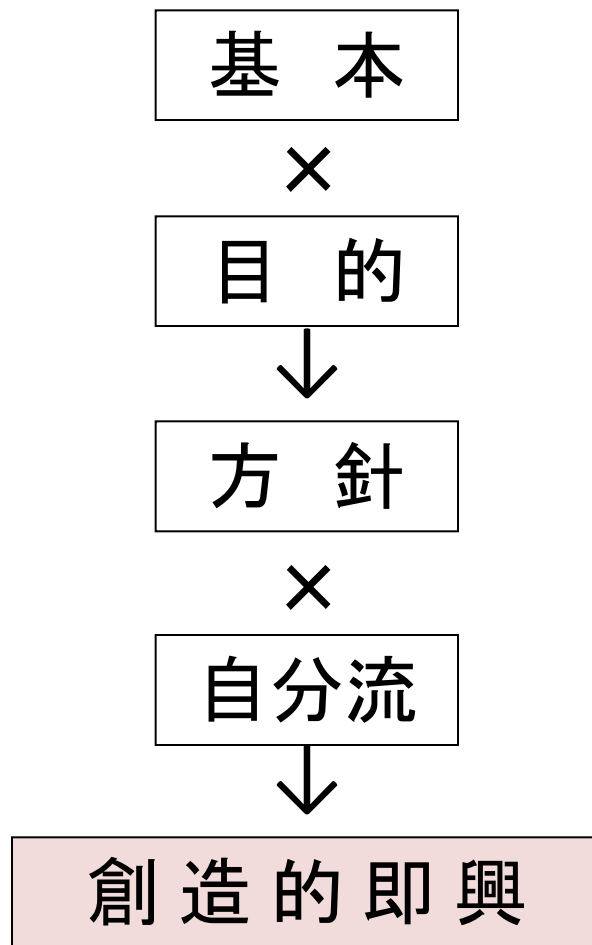


図5 基本から創造的即興へ